



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

# みどりと清流

第105号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

2010年

12月発行

http://www.ab.cyberhome.ne.jp/~nakanohp/

しんぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

日曜版1ヶ月 800円

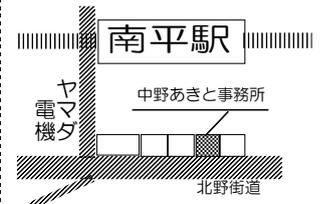
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



## 市の第4次行革大綱中間報告を質す

中野あきと

# 民営化、負担増、職員の非正規化

10月15日付け日野市『広報』で明らかにされた第4次行革大綱中間報告。「検証」「見直し」などの行政用語を読み解くと、保育園の民営化、学校給食の民間委託化、市民への更なる負担増、職員の削減・非正規化を一層すすめる内容が浮かび上がってきます。

中でも小学校の学校給食で、これまで守り抜くとしてきた一校に一人の栄養士の配置と、自

### ▼水増し?。第3次行革の節減効果

市は、第3次行革での節減効果が一一八億円あったと言います。しかしその中には、日野市の行革とはまったく関係のない七五億円もの国の負担金や、都の水道業務関連費などが含まれています。質問に、まともな説明はありませんでした。

### ▼行革の物差し「簡素化率」の算定は?

市は、行革目標について「簡素化率20%」といっています。では、その簡素化率なるものを一体どうやって算定するのか。「精神的な目標」などと、議場から失笑が漏れるような答弁しかできませんでした。

### ▼学校給食。

守るはずの栄養士の配置、自校調理方式は?

かつて、民間委託を導入するに当たり市は、日野の学校給食の宝である一校に一人の栄養士の配置と、自校調理方式は守り抜くとしてきました。私の追及に対し市長から「大きく人口変動がないかぎり、これまでどおり維持する」との答弁がありました。

### ▼保留したはずの保育園の「民営化」

「待機児童の解消が図られるまで民営化は保留する」としてきた約束に反します。市長は、保育園

校調理方式までターゲットにあげられています。私は、12月市議会本会議一般質問で、市の姿勢を質しました。

市長からは、「ご指摘を十分ふまえて策定作業をすすめる」との答弁がありました。が、実態を見ない数値の上の議論だけで行われるのは問題です。市民生活にどう影響を及ぼすのか、事実を踏まえた論議を継続していきたいと考えます。

の需要が増えていくことを認め「減少したときには対応しなければならぬ」と、「保留」の方針は変えていない立場を明らかにしました。

### ▼更なる職員削減・非正規化

日野市はこれまでも職員削減がすすみ、しかも学校現場が狙い打ちにされてきました。そのため非正規労働者の割合は48%にも及び、自治体一般が三人に一人と言われているのに、二人に一人となっています。市民生活に直接関わる職員半分が、フルタイムで年収二〇〇万円程度の実態にあることを、立ち止まって見直すべきだと指摘しました。

### ▼子育て・教育施策の検討が、たった二時間

いったいこの中間報告にいたる検討は、どのくらい行われてきたのか。私は、保育園、学童クラブ、幼稚園、学校、公民館、郷土資料館などの教育施策を例に質しました。なんと、たった一日で約二時間強だという答えでした。



12月2日 市議会本会議で質問する中野あきと市議

## 短信

大相撲九州場所は白鵬の5場所連続、17度目の優勝で幕を閉じた。白鵬が双葉山の6

9連勝を超えるかが注目の的であったが、稀勢の里に「63」で連勝を止められてしまった。それでも大変な記録である

▼双葉山が活躍した当時は年2場所制で、足掛け4年の大記録である。現在では1年間全勝すれば90勝になるが、優秀はつげたいのではない。年6場所では、調整不十分でも、場所に入らなければならぬ

▼翌日の朝日新聞のスポーツ面は「白鵬木鶏たりえず」と、大見出しが踊っていた。パツと理解されたかたは、相当の通と思う▼木鶏(もちけい)とは、中国の故事から「木の鶏のように物事に動

じない最強の状態」という意味とのこと。双葉山が敗れた時「我、未だ木鶏たりえず」と言ったという。これがわかるとなるほど、そういうことかと胸に落ちる▼「みどりと清流」も2010年の最後の版である。見出しは「木鶏」には程遠く、内容も改善点がたくさんあったが、

市民の目から見て「情報ありのままに伝える」などを基本に編集をしてきました。少しはお役に立ったでしょうか。(日)

## 市の公共施設の維持保全に 2373億円が必要??

日野市は、公共施設の建替え等の事業のために、今後55年間で2373億円（一年当たり45億円）もの莫大な経費が必要との報告書（「日野市公共施設の現状」2010年11月）を発表しました。日本共産党市議団は、20億円以上をかけた「ふれあいホール」建設計画について「建設費だけでなく維持・補修を含めた後年度負担が大きくなる」と指摘し、今日の財政状況下では「大型施設新設よりは既存施設の維持・改修を」と主張してきました。

公共施設の維持・保全の事業費を明らかにし、計画的に改修をすすめることは妥当です。しかし、今回発表された「莫大な金額」に対しては、幾つかの留意すべき点があると考えます。

- 「報告書」は、市の公共施設を今後55年間、現状の規模のままを前提にしています。国の推計によると55年間で30%以上の人口減少が見込まれています。現状を前提とした試算にどれほどの意味があるのでしょうか。
- 55年もの長期間を見通すなら、これからも大規模に進めようとしている区画整理事業などの公共事業の見直しも必要です。人口減少するのにこのまま新たな道路をつくり、宅地造成する事業をすすめてよいのでしょうか。
- ここで言う「莫大な経費」については、「第4次行革大綱中間報告」が、「厳しい財政状況」を強調する新たな論拠として使われています。市民に更なる負担増を押し付けることや、福祉、教育を切り下げる口実に使わせてはなりません。

### 南平2丁目南北道路の一部 まもなく補修工事

南平2丁目、みなみが丘住宅と南平台の間の南北道路の、野鳥センター付近の補修工事が始まります。急な坂道のうへ傷みが激しく危険であり、中野あきと市議は繰り返し補修を求めてきました。今春補修が行われたその先の、106mが今回の補修区間です。

### 《お問い合わせ》ミニバス南平路線の 「一番橋通り」停留所はどうなる？

「一番橋通りと京王線との立体交差完成後、線路の南側にある『一番橋通り』停留所はどうなる」という問い合わせがありました。市の都市計画課によると、安全上の問題などで設置場所を警察署とも相談するが、存続させる方向で考えているということでした。

《11年 1月の無料法律相談》  
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時  
1月 13日（木）  
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を  
お寄せください

## 市民の声、議会を無視

### 生活保健センターの

## 温水プール廃止



12月市議会で馬場市長が提案する補正予算に、生活保健センターの温水プールを廃止し、その跡に「健康サポートルーム」を設置するとして工事経費四〇〇〇万円が計上されました。

同プールは、昨年10月以降、ボイラーの故障などで使えなくなっています。再開を求める利用者の声は切実で、議会では昨年12月に「温水プール利用再開を求める決議」が可決され、今年6月には「温水プールの利用再開を要望する陳情」が市民から提出され、同様に採択されています。

しかし、市は「改修や運営にお金がかかる」などを理由に、結論をずらすと先延ばしにし、検討結果を市民にも議会にも報告することもなく、一方的に補正予算に盛り込んできました。

確かに温水プールは、他のスポーツ施設と比べれば運営にお金が掛かります。しかし浅く安全なため、高齢者や障害者を中心に年間一万人以上の利用者がありました。リハビリや予防に効果的で、市の市民アンケートでも欲しい施設として最も要望が高いものになっています。

巨額な建設費と運営費を要する「市民の森ふれあいホール」の建設を強行し、要望の強い高齢者や障害者の施設を廃止しようとする市の姿勢が問われます。

## 「すすめる会」が申し入れ

### 南平駅の工事の安全など

現在工事が行われている京王線南平駅。バリアフリー化の主体の「橋上駅舎」および「エレベーター」設置は、平成23年3月末までに完成させるとのことです。

11月4日「南平駅バリアフリー化をすすめる会」は、京王電鉄本社に向き折衝、工事期間中の駅利用者や住民の安全と、工事の進行に合わせて「工事内容」「工事工程」を現場に掲示することを求め、実施されました。

また、京王電鉄から「仮囲い」で出入り口が狭くなっているために管理者の配置などの安全対策、騒音・振動等に対する注意を払うとの表明を得ました。

## 「沖縄県知事選」支援活動のお礼と報告

中野あきと事務所では、11月28日投開票が行われた「沖縄知事選」について11月10日と26日の夕刻南平駅で、16日の夕刻高幡不動駅で「普天間基地の無条件撤去を求める」請願署名と、イハ洋一候補支援の募金を訴える行動をしました。その結果、「請願署名」は合わせて154筆、募金は23,275円のご協力を頂き、募金については、日本共産党沖縄県委員会へ送付いたしました。ありがとうございました。

なお、選挙結果は、イハ候補が惜敗しましたが、当選した仲井真知事が「普天間基地の県内移設は無理」と、言明せざるを得ないところまで追い込まれるなど、沖縄県民の意思がゆるぎないものであったことを改めて示す結果となりました。